



薬剤師だから気付くフィジカルアセスメント推論力 ～服薬後のMy患者に責任を持つために～

バイタルサイン収集手技習得、アセスメント実技実習、活用事例紹介により、明日からの実践に繋がります。講師に医師、看護師、薬剤師（病院、薬局）、救急救命士を迎え、薬剤師としてのアセスメントの重要性を多職種の中で実感していただきます。事前に配信する動画を視聴し、目標設定したうえでご参加ください（年2回開催、同内容）。

開催日程	第1回 2022年 4月17日(日) 10:00～16:30 第2回 2022年 5月29日(日) 10:00～16:30	年2回開催 同内容
開催場所	本学 臨床薬学教育研究センター2階	定員 各回20名
受講料	10,000円	認定単位 G24 3.5単位
申込受付	第1回 2022年2月9日(水)～4月 4日(月) 第2回 2022年2月9日(水)～5月16日(月)	
申込方法	ホームページよりお申込みください。 https://skc.kyoto-phu.ac.jp/	
講師	JCHO京都鞍馬口医療センター 血液内科 医師 淵田 真一 先生 JCHO京都鞍馬口医療センター がん看護専門看護師 門田 典子 先生 みやこ薬局薬大前店 薬局長/在宅療養支援室長 管理薬剤師 西村 豊 先生 医療法人橘会 東住吉森本病院 薬剤科 主任 佐古 守人 先生 京都薬科大学 病態生理学分野 准教授 医師 細木 誠之 先生 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 薬剤師・救急救命士 今西 孝至 先生	

時 間	プログラム
10:00-11:50 実技実習	【Ⅰ】バイタルサイン情報収集スキル習得 1) フィジカルアセスメントを薬剤師が行う意義 ・多職種で共有する患者病態 ・聴診器の正しい扱い方 ・簡易な医療機器(アネロイド血圧計、パルスオキシメーター等)の原理と使用法 2) バイタルサイン情報収集 ・聴診器の使用 ・呼吸、脈拍、血圧、SpO ₂ の測定
12:00-12:30	【ランチョンミーティング】 ※軽食・お茶付
13:00-15:10 症例検討 SGD	【Ⅱ】症例検討の実践 1) 症例検討を行うにあたっての基礎知識 ・診断の流れ、疾病の基礎 ・胸部X線写真の見方 ・心電図の見方 2) 症例検討 ・フィジコ(フィジカルアセスメント シミュレータ)を患者に見立てての実技実習 ・発表(処方提案) ・質疑応答
15:20-16:20 事例紹介	【Ⅲ】明日から実践できるフィジカルアセスメント活用 ・薬局薬剤師のフィジカルアセスメント ・病院薬剤師のフィジカルアセスメント
16:20-16:30	全体を通しての質疑応答、講評

※プログラム内容等は変更される場合があります。

【重要】COVID-19の状況により、開催日、会場、定員、実施方法等に変更が生じる可能性があります。最新情報、詳細は必ずホームページ (<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>) をご確認ください。

